

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県ライトセンター
指定管理者 日本赤十字社
施設所管課 障害福祉課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5/8	5/20	月報を確認 改善すべき業務はなし
5月	6/8	6/19	
6月	7/9	7/17	
7月	8/10	8/20	
8月	9/9	9/18	
9月	10/9	10/20	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

施設の利用を促進し、視覚障害者の生活の質的向上を図る観点から様々な事業を提案

- ① 視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供事業を実施
- ② 視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導訓練事業を実施
- ③ 視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施
- ④ 視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施
- ⑤ 視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施

< 実施状況 >

- ① 7月～9月 情報提供事業を実施【副音声付きDVD映画体験会（各月1回開催）】
- ② 5月 指導訓練事業を実施【視覚障害乳幼児指導（野外指導）】
- ③ 4月～9月 ボランティア育成事業を実施【ボランティア養成講座及び技術研修の実施】
- ④ 7月 スポーツ振興事業を実施【シンクロ体験教室（参加者：11人）】
- ⑤ 4月～9月 普及啓発事業を実施【福祉一日教室（58回、2,795人参加）】

3 収支状況

(単位：千円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	353,445	353,445		353,445	
上半期計 (a)	168,818	168,818	()	158,956	9,862
下半期計 (b)			()		
4 月	23,109	23,109	()	16,314	6,795
5 月	22,764	22,764	()	21,595	1,169
6 月	52,522	52,522	()	46,968	5,554
7 月	23,474	23,474	()	28,731	△5,257
8 月	23,474	23,474	()	22,687	787
9 月	23,475	23,475	()	22,661	814
合計 (a+b)	168,818	168,818		158,956	9,862

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

予算額に比し執行率は94.2%である。収支差額は±10%以内に抑えられており概ね妥当である。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用
上半期計 (a)	21,526	25,634 人	18,704	24,306 人	15.1%	5.5%
下半期計 (b)		人		人		%
4 月	3,561	4,322 人	3,215	4,146 人	10.8%	4.2%
5 月	3,346	3,792 人	3,106	3,870 人	7.7%	△2.0%
6 月	3,408	4,634 人	2,798	3,975 人	21.8%	16.6%
7 月	3,812	4,574 人	3,344	4,570 人	14.0%	0.1%
8 月	3,633	4,345 人	3,265	3,859 人	11.3%	12.6%
9 月	3,766	3,967 人	2,976	3,886 人	26.5%	2.1%
合計(a+b)	21,526	25,634 人	18,704	24,306 人	15.1%	5.5%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔 図書貸出数については、アナログからデジタルへの転換が進んでいるため、デジタイズ図書の貸出し数の伸び（前年比 133.0%）が顕著となっている。 〕

5 苦情・要望等の状況

（施設受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4 月		1				1
5 月		2				2
6 月						
7 月						
8 月		1				1
9 月						

（施設所管課受付分）

報告月	口頭	文書	合計
4 月			
5 月	1		1
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
職員対応	・特になし	
事業内容	・特になし	
その他	・特になし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月25日	概要：ボランティア作業中に床に膝をついたが自力で帰宅。 対応：後日骨折判明。ボランティア団体の見舞金制度による対応。
7月29日	概要：体育館機材庫ドアに指挟む。 対応：氷で冷やす。後日骨折判明。クラブ活動保険による対応。
8月6日	概要：トレーニングマシン使用中腰に違和感。 対応：アイシング後帰宅。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

- ・新型インフルエンザの流行により、点字版等で急遽啓発冊子の点字版等を作成し、約2千人に配布し、多くの視覚障害者から感謝の言葉が寄せられた。
- ・教育現場から福祉教室開催の依頼が多く寄せられており、視覚障害者とライトセンター事業を多くの方に理解していただくよう、ボランティアの協力を得て全職員で対応できるような体制を整えて臨んでいる。

施設所 管課	<ul style="list-style-type: none">・年度協定における事業計画に基づき、着実に事業が行われている。・施設における事業の実施に関しては、例年変化のなかった内容からの工夫が見られる。 （例：夜間に開催する福祉教室、スポーツ教室の新種目、映画体験会等）・施設が横浜市内にあるため、遠方のため来所できない視覚障害者に向けたアウトリーチの情報提供や支援を充実させていくことが今後の課題である。
-----------	---